

天空の稜線 『白峰三山』 縦走

○山行日 2019年8月17日～19日

○日程 17日(土) 松戸 18:00—身延(泊)

18日(日) 奈良田=広河原 6:30—白根御池小屋 9:00—北岳肩の小屋—北岳山頂 12:55
—中間道 —北岳山荘 14:30(泊)

19日(月) 小屋 5:10—間ノ岳 6:45—農鳥岳 9:35—大門沢小屋 13:15—奈良田 17:10
=西山温泉=松戸 22:30

ここ数年、南アルプスへの登山欲が高まり「今年の夏こそ！」とひそかに考えていた。

そして、幸運にも白峰三山の山行が決まった。

広河原を早朝出発し、長い登りが始まった。お盆休み後半の賑わう時期のため、行き交う登山者と譲り合いながら少しずつ高度を上げていく。今回のメンバーは自分以外、皆「花」に詳しい。自分が質問すると必ず答えが返ってくるのは驚きである。1時間ほど登ると、斜面が黄色く彩られた。「マルバダケブキ」が群生している。鹿も食べないので、増えてきているという。2時間で白根御池小屋、その後いくつかの分岐を越え、稜線に出ると間もなく肩ノ小屋に着いた。そして、12:55 ついに北岳に登頂した。あいにく、周りはガスで真っ白、眺望はきかないが、自分は初登頂のため喜びが大きい！3,193mの山頂は、風もなく穏やかだった。北岳山荘までは、お奨めの中間道を下った。ここは8月中旬とはいえ、お花畑が見事だった。広範囲にわたり高山植物が咲き誇り、花好きのWさん・Sさんは下山も忘れて夢中でカメラを構えていた。14:30北岳山荘に着いた。気になるのは、明日の天気。雨を心配しながら、眠りについた。

2日目、5:10山荘を出発。予想以上に雲がなく、朝日が見られそうな気配。間もなく、北岳の横から、朝日が登った。どの登山者も朝日に向かって撮影を始めた。すがすがしい朝の空気、朝日を浴びた緑の稜線、縦走の楽しさを満喫できる。間ノ岳に向かって気持ちよく前進した。北岳から、間ノ岳にかけての稜線は、「天空の稜線」といわれるくらい気持ちよい稜線歩きが楽しめるところらしい。その名のとおり、3000mの稜線を、大きく深い南アルプスを、気分よく歩いた。途中、岩場の陰にひっそりと咲く「タカネマンテマ」を発見する！花好きの3人は大感激していた。6:45間ノ岳に登頂する。そしてまた、美しい稜線を農鳥岳まで進んだ。西農鳥岳への登りはきつかったが、9:30「白峰三山」の3つ目「農鳥岳」に着いた。三山縦走を完遂でき、心から嬉しかった。

本当にありがとうございます！！予報どおり、天気は悪くなってきたので、後は、ひたすら大門沢小屋を目指して下山した。午後になるのを待っていたかのように雨も降り出した。川の増水を懸念し今日中に下山することを決め、大門沢小屋泊を変更して奈良田を目指した。12時間の長い行動時間になってしまったが、大雨の中、無事奈良田に帰ってきた。大満足の1泊2日の「白峰三山縦走」であった。

今年の夏は、北アルプスにも南アルプスにも行け、計画どおり目標の山に登頂できた。心から、会の皆さん(同行いただいた方々)に感謝したい！ありがとうございます。こんな充実した夏も間もなく終わり、色づく秋山の足音が聞こえてきそうである。



天空の稜線